

関西広域環境保全計画の策定

— 環境先進地域「関西」へのさらなる挑戦 —

平成22年（2010年）12月に設立した関西広域連合^{*1}では、防災、観光・文化振興、産業振興、医療、環境保全、資格試験・免許等、職員研修の7分野の広域事務を実施しています。

平成24年（2012年）3月には、滋賀県が担当する環境保全分野において「関西広域環境保全計画」を策定し、「地球環境問題に対応し、持続可能な社会を実現する関西」を目標に、環境保全に取り組んでいくこととしています。

※1 構成団体：滋賀県、京都府、大阪府、兵庫県、和歌山県、徳島県、鳥取県、京都市、大阪市、堺市、神戸市（平成24年8月現在）

関西広域環境保全計画の概要

● 計画策定にあたって

関西地域は、都市と自然が比較的近接していることや、太陽電池工場をはじめとする環境関連産業が多く集積していることなど、様々な地域特性を有しています。

一方、地球温暖化や生物多様性、資源循環など環境分野における広域的課題への対応や、平成23年3月11日の東日本大震災を教訓に、環境リスク情報の共有・一元化や再生可能エネルギーの導入促進などによる安全・安心で持続可能な社会への転換が求められています。

この計画では、これら関西の持つ地域特性や課題等を踏まえながら、関西の目指すべき姿や施策の方向性を定め、様々な主体とともに、環境保全に取り組んでいくこととしています。

● 関西が目指すべき姿（2030年頃の姿）

目標：「地球環境問題に対応し、持続可能な社会を実現する関西」
— 環境先進地域「関西」へのさらなる挑戦 —

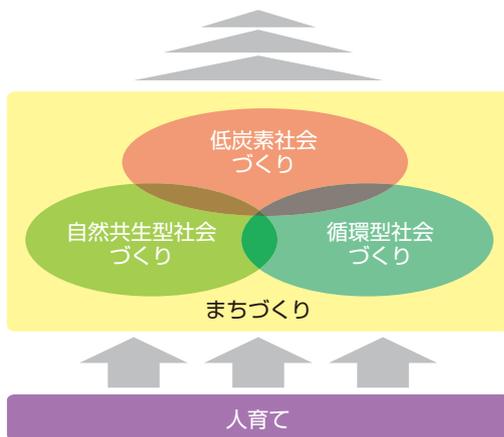
<将来像>

- 暮らしも産業も元気な低炭素社会
- 生物多様性の恵みを身近に感じる自然共生型社会
- すべてのものを資源と考える循環型社会
- 安全・安心で歴史と文化の魅力あるまち
- 持続可能な社会を担う人材の宝庫

● 施策の展開

◆ 施策の方向性（5つの戦略）

2030年「地球環境問題に対応し、持続可能な社会を実現する関西」



施策展開のイメージ

■ 低炭素社会づくり（地球温暖化対策）

① 環境と経済の両立、ライフスタイルの転換と産業活動の低炭素化・省エネルギー化の推進

■ 現在実施している取組

- ・ 住民・事業者啓発事業（エコオフィス運動、エコスタイルの呼びかけ等）
- ・ 関西スタイルのエコポイント事業、クレジット広域活用検討
- ・ 電気自動車普及促進事業（充電マップの作成・発信等）



② 再生可能エネルギーの導入促進

■ 自然共生型社会づくり（生態系保全）

① 広域的な鳥獣保護管理等

■ 現在実施している取組

- ・ カワウ広域保護管理対策（モニタリング調査、広域保護管理計画策定に向けた検討）



② 生物多様性に関する情報の共有・一元化と流域全体での生態系サービスの維持・向上

■ 循環型社会づくり（資源循環対策）

① 廃棄物の発生抑制・再使用・再生利用の推進
② 都市部と農山漁村地域の近接を活かした資源循環システムの構築

■ 安全・安心で歴史と文化の魅力あるまちづくり（生活環境の保全等）

① 水・土壌・大気環境の保全による、快適で安全・安心な生活環境の創出
② 環境に配慮しつつ、多様で厚みのある歴史・文化資源を活かしたまちづくりの推進

■ 持続可能な社会を担う人育て（環境学習の推進）

① 地域特性を活かした交流型環境学習の推進
② 年少期の気づきや感動を大切に環境学習の推進